



致遠館SSH通信



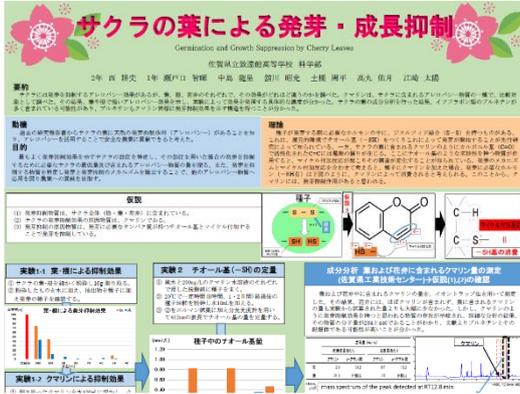
新しい価値の創造に向けて挑戦する科学的人材の育成を目指して

佐賀県立致遠館高等学校
佐賀県立致遠館中学校
SSH研究部
平成31年1月24日発行 第16号



「中高生のための学会『サイエンスキャッスル』2018九州大会」で「優秀賞」(2位)を受賞

12月16日(日)に、水俣市で「中高生のための学会『サイエンスキャッスル』2018九州大会」が開催されました。九州・山口各県の高校等から、12件の口頭発表と44件のポスター発表がなされました。本校からは、サクラのアレロパシー物質について研究活動に取り組んでいる、科学部2年生の西耕史君、1年生の瀬戸口智暉君、中島龍星君、舘川昭光君、土橋周平君、高丸佑月さん、江崎太陽君が参加し、「サクラの葉による発芽・成長抑制」のポスター発表で、2位にあたる「優秀賞」を受賞しました。



「リケジョプラットフォーム in SAGA『文理選択を考えよう』」に参加しました

12月20日(木)に、本校を会場にして、佐賀大学ダイバーシティ推進室主催による中学生対象の講座「リケジョプラットフォーム in SAGA『文理選択を考えよう』」が開催されました。中学2年生60人が参加しました。講座では、佐賀大学ダイバーシティ推進室 荒木薫先生による「ダイバーシティ入門講義」、大学生による講義、佐賀大学農学部 川添嘉徳先生による「DNA抽出実験」等がありました。



「数学オリンピック合同学習会」を開催しました

12月22日(土)に、「数学オリンピック合同学習会」を実施しました。本校から1人、県内高校から8人の計9人が参加しました。公益財団法人数学オリンピック財団 峰岸龍先生に、数学オリンピックの概要や問題の解法などについて講義いただきました。1月14日(月)実施の数学オリンピックでは、高校生47人、中学生36人の計83人が受験しました。



生徒の感想

- 「約数についての知識を再構築する必要性を感じた。中国余剰定理については、あいまいな理解をしていたので、知識を増築することができた。」
- 「自分の知っていた知識がどれだけ狭かったのかを感じさせられた。見方を一つ変化させることで、見え方が180°以上変化しているのを自分で解いていて実感した。」
- 「楽しかったし、ちゃんと解けるようになりたいと思ったので、数学オリンピックの過去問をたくさん解こうと思いました。学校の授業では使わないような頭を使ったし、解説を聴いて理解するだけで精一杯でした。」

「九州大学アカデミックフェスティバル2018」に参加しました

12月22日(土)に、九州大学伊都キャンパスで「九州大学アカデミックフェスティバル2018」が開催されました。本校からは科学部が「サクラの葉による発芽・成長抑制」の研究を発表し、九州・山口圏のSSH指定校やSGH指定校等の生徒と課題研究発表を通して相互に交流を深めました。